

小アジア

BC14c.~BC8c.

		政治・外交	文化
BC 14	ヒッタイト王国	BC.17c~ ヒッタイト王国(インド=ヨーロッパ系)(cap.ハットウシャ(ボアズキョイ)) ca.1595 古バビロニア王国を滅ぼす ca.14c. 全盛	鉄器の使用
BC 13		ca.1286 エジプト新王国(ラメス2世)とカデシュの戦い	
BC 12	フリギア王国	ca.1200 海の民によってヒッタイトが滅亡	
BC 11		ca.11c フリギア王国(インド=ヨーロッパ系)が成立(cap.ゴルディオン)	
BC 10		ギリシア人による植民活動	
BC 9			
BC 8	リディア	ca.730 リディア王国(インド=ヨーロッパ系)(cap.サルデス)がおこる	

小アジア

BC7c.~BC1c.

		政治・外交	文化
BC 7	リディア王国	<p>7c.初頭 フリギア王国が滅亡 リディア、強大化したアッシリア(セム語系)(cap.アッシュール→ニネヴェ)と友好関係 ca.660 ギリシア人、植民市ビザンティオンを建設</p> <p>612 アッシリアが滅亡、オリエントは四国分立時代へ</p>	リディア、世界初の鑄造貨幣
BC 6	アケメネス朝	<p>546 アケメネス朝ペルシア(cap.スサ・ペルセポリスなど)(キュロス2世)がリディアを滅ぼす</p> <p>525 アケメネス朝ペルシア(カンビュセス2世)のオリエント統一 522 アケメネス朝でダレイオス1世が即位(位~486) サトラップ・「王の目・王の耳」 「王の道」 駅伝制(スサ~サルデス) 異民族に寛容</p>	諸文化の融合 ゾロアスター教
BC 5	ペルシア領	<p>499~494 イオニア植民市の反乱 499 ペルシア戦争開始 490 マラトンの戦い 480 テルモピレーの戦い・サラミスの海戦 479 プラタイアイの戦い</p> <p>449 ペルシア戦争終結</p>	三段櫂船(ギリシア)
BC 4	マケドニア領	<p>359 マケドニアでフィリッポス2世が即位(位~336) マケドニアを統一(cap.ペラ) 338 カイロネアの戦い。マケドニアがギリシア全土を制圧。 336 マケドニアでアレクサンドロス大王が即位(位~323) 東方遠征開始。 333 イッソスの戦い 331 アルベラの戦い 330 アケメネス朝が滅亡(ダレイオス3世) 323~301 ディアドコイ戦争 312 セレウコス朝シリア建国(cap.アンティオキア・セレウキア) 306 リシマコス朝トラキア建国(cap.リシマキア) 4c.末 ポントス王国建国</p>	
BC 3	アッタロス朝	<p>281 セレウコス朝、リシマコス朝を滅ぼす</p> <p>263 アッタロス朝ペルガモンがセレウコス朝から独立</p>	ヘレニズム文化 コイネー
BC 2	ペルガモン	<p>ポエニ戦争で敗れてカルタゴから逃れたハンニバルが、セレウコス朝の軍事顧問に ca.198 セレウコス朝シリアが小アジアをほぼ掌握、アッタロス朝はローマに支援要請 190 ローマがセレウコス朝を破る(マグネシアの戦い)。アッタロス朝領土回復</p> <p>146 マケドニア・ギリシアがローマの属州に</p> <p>129 アッタロス朝ペルガモンは、王アッタロス3世の遺言でローマの属州に(属州アジア)</p>	
BC 1	ローマ領	<p>88~63 ミトラダテス戦争(ローマ(スラ)対ポントス王国(ミトラダテス6世))</p> <p>64 ローマ(ポンペイウス)により、セレウコス朝シリアが滅亡 63 ポントス王国滅亡</p> <p>31 アクティウムの海戦、翌年プトレマイオス朝エジプトが滅亡 27 ローマのオクタウィアヌス(位BC27~AD14)が元老院からアウグストゥスの称号を得る ローマ、元首政(プリンキパトゥス)開始(帝政ローマの開始) 「パックス=ロマーナ」</p>	45 ユリウス暦

小アジア

1c.~7c.

		政治・外交	文化
1	ローマ帝国領	96~180 ローマ、五賢帝時代	45~58 パウロの伝道 64~67 ネロ帝のキリスト教徒大迫害
2		ローマ帝国の領土最大 198 カラカラ帝(マルクス=アウレリウス=セウェルス=アントニヌス)即位(位~217) <3世紀の危機> 212 アントニヌス法発布、ローマ帝国内の全自由民にローマ市民権	
3		235~284 ローマ、軍人皇帝時代 ゲルマン人やササン朝が侵入 284 ローマでディオクレティアヌス帝が即位(位~305)、専制君主政(ドミナートゥス) 293 ローマを東西二分し、それぞれ正帝と副帝をおく(四分統治)	市民法→万民法 皇帝崇拜・キリスト教迫害
4		ディオクレティアヌスは東方正帝としてニコメディア(小アジア西北部の都市)に 306 コンスタンティヌス帝が西方正帝に即位(位~337) 324 四分統治を廃止、コンスタンティヌスが再統一 330 ローマ帝国がビザンティウムに遷都、コンスタンティノープルと改称 361 ユリアヌス帝即位(位~363)、キリスト教迫害 375 西ゴート人がフン人に圧迫され、移動を開始。ゲルマン人の大移動スタート。 379 テオドシウス帝が即位(位~395) 395 テオドシウス、帝国を二子に分割相続、ローマ帝国が東西分裂。 395 東ローマ帝国(=ビザンツ帝国)が成立(cap.コンスタンティノープル)	313 ミラノ勅令でキリスト教公認 325 ニケーア公会議(アリウス派異端) 392 キリスト教国教化、異教禁止
5		499 ブルガール人の侵入	431 エフェソス公会議 (ネストリウス派異端)
6		527 ユスティニアヌス帝が即位(位~565) 534 ヴァンダル王国を滅ぼす ラテン語の公用語化 555 東ゴート王国を滅ぼす 568 イタリアでランゴバルド王国が成立	534 『ローマ法大全』完成 537 ハギア=ソフィア聖堂完成 ビザンツ様式 宗教画モザイク
7		610 ヘラクレイオス1世が即位(位~641) 619 アヴァール人の侵攻 軍管区制(テマ制)と屯田兵制 ギリシア語の公用語化 673 ウマイヤ朝、コンスタンティノープルを包囲 ブルガール人(トルコ系)、ブルガリアで建国、のちにスラヴ化 695~716 無政府状態	

小アジア

8c.~14c.

		政治・外交	文化
8	ビザンツ帝国	717 レオン3世が即位(位~741) 717 ウマイヤ朝、コンスタンティノープルを再び包囲 756~775 ブルガール人と戦う 782 アッバース朝と屈辱的の和約を結ぶ	726 聖像禁止令、聖像崇拜論争開始 皇帝教皇主義を採用
9		853 アッバース朝と戦う 867 マケドニア朝(~1057)が創始、帝国の最盛期 867 コンスタンティノープル総主教、ローマ教皇を破門 875 南イタリアを回復 878 アッバース朝、シチリアを占領 893 第1次ブルガリア帝国が建国	843 聖像崇拜許可 イコン崇拜
10			ビザンツ文化最盛期 989 キエフ公国ウラディミル1世、 ギリシア正教に改宗
11		1000~1014 ブルガリア人との戦い 1018 第1次ブルガリア帝国が滅亡 1042 セルビアが独立 1054 東西教会が相互に破門、完全分離 ギリシア正教会成立 1071 セルジューク朝、イエルサレム占領 1077 ルーム=セルジューク朝成立(cap.ニケーア) 1095 ローマ教皇ウルバヌス2世に救援要請 1096~1099 第1回十字軍、イエルサレムを奪還してイエルサレム王国を建設 プロノイア制	
12		1116 ルーム=セルジューク朝、コニヤ(イコニウム)に遷都 1130 南イタリアに両シチリア王国成立(ノルマン人) 1168 セルビア王国建国 1187 第2次ブルガリア帝国の建国	
13	ニケーア帝国 ラテン帝国	1204 第4回十字軍のヴェネツィア人がコンスタンティノープルを占領、ラテン帝国を建国 1204 ビザンツ帝国側がニケーア帝国を建国(cap.ニケーア) 1243 ルーム=セルジューク朝がモンゴル軍に敗れる 1261 ニケーア帝国がコンスタンティノープルを奪回、ビザンツ帝国復興	
14	ビザンツ帝国 オスマン帝国	1299 オスマン1世(位~1326)がオスマン帝国を建国 1307 ルーム=セルジューク朝が滅亡 1326 オスマン帝国がブルサを都とする 1354 オスマン帝国がバルカンに進出 1360 オスマン帝国でムラト1世即位(位~1389) ca.1362 イェニチェリ創設 1362 オスマン帝国がアドリアノープルを占領、のち(1366)遷都。 1389 オスマン帝国がセルビア王国を征服。バヤジット1世が即位(位~1402)、スルタンを称す 1393 第2次ブルガリア帝国が滅亡 1396 ニコポリスの戦い。オスマン帝国がバルカン制圧	

小アジア

15c.~18c.前半

		政治・外交	文化
15	ビザンツ帝国	<p>1402 オスマン帝国がアンカラの戦い(対ティムール帝国)で敗れて壊滅状態(~1413)</p> <p>1444 オスマン帝国でメフメト2世が即位(位~1446)</p> <p>1451 オスマン帝国でメフメト2世が再即位(位~1481)</p> <p>1453 オスマン帝国がコンスタンティノープルを陥れる。イスタンブルと改称。ビザンツ帝国滅亡。</p> <p>1459 セルビアを併合 1460 ギリシアを併合</p> <p>1475 クリミナを攻略 1478 アルバニアを併合</p>	
16	オスマン帝国	<p>1512 セリム1世が即位(位~1520) 1514 チャルディランの戦いでサファヴィー朝を破る</p> <p>1517 マムルーク朝を滅ぼし、シリア・エジプトを領有、メッカ・メディナの庇護者に</p> <p>1520 スレイマン1世が即位(位~1566) 1522 ロードス島占領</p> <p>1526 モハーチの戦いでハンガリーを破る 1529 第1次ウィーン包囲(対カール5世)</p> <p>1534 サファヴィー朝から南イラクを奪う</p> <p>1538 プレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアに勝利</p> <p>1541 ハンガリーの大半を征服</p> <p>1554 アルジェリアを獲得</p> <p>ミット制</p> <p>1569 フランスにカピチュレーションを与える</p> <p>1571 レパントの海戦でスペイン・ヴェネツィアに敗れる</p> <p>1580 イギリスにカピチュレーションを与える</p> <p>1590 サファヴィー朝からタブリーズなどを獲得</p>	1557 スレイマン=モスクが完成
17	オスマン帝国	<p>1612 オランダにカピチュレーションを与える</p> <p>1638 イラクを併合</p> <p>1669 ヴェネツィアよりクレタ島を獲得</p> <p>1677~1681 ロシアと会戦</p> <p>1683 第2次ウィーン包囲(失敗)</p> <p>1699 カルロヴィッツ条約、オーストリアにハンガリーを割譲</p>	
18		<p>1703 アフメト3世が即位(位~1730)</p> <p>チューリップ時代(対西欧宥和政策)</p> <p>1718 北セルビア・ワラキアを失う</p> <p>1739 セルビア・北ワラキアを奪還</p> <p>1744 第1次ワッハーブ王国が成立</p>	

小アジア

18c.後半～20c.

政治・外交

文化

18

1774 ロシアに黒海北岸を割譲

1798 ナポレオンがエジプトに侵入

19

オスマン帝国

1805 ワッハーブ派がメディナを占領 1805 ムハンマド＝アリー＝の改革がスタート

1811 ムハンマド＝アリー＝により、エジプトが事実上独立

1818 第1次ワッハーブ王国がムハンマド＝アリー＝により滅ぼされる

1821～1829 ギリシア独立戦争 1822 ギリシア独立宣言

1823 第2次ワッハーブ王国が成立 1826 イェニチェリ全廃

1829 アドリアノーブル条約 1830 ロンドン会議でギリシアの独立が承認

1831～1833 第1次エジプト＝トルコ戦争

1833 エジプト独立承認 1833 ウンキヤル＝スケレッシ条約(露以外の両海峡軍艦通行禁止)

1839 アブデュル＝メジト1世が即位(位～1861)、タンジマート開始

1839～1840 第2次エジプト＝トルコ戦争 1841 ウンキヤル＝スケレッシ条約廃棄(外国軍艦通行禁止)

1853～1856 クリミア戦争

1856 パリ条約(黒海の中立化、両海峡の軍艦通行禁止)

1875 ボスニア蜂起 1876 ブルガリアで全国的反乱(→1878 ブルガリア自治公国建国)

1876 アブデュル＝ハミト2世が即位(位～1909) 1876 ミドハト憲法公布(1878 停止)

1877～1878 露土戦争 1878 サン＝ステファノ条約(ルーマニア・セルビア・モンテネグロ独立)

1878 ベルリン会議(奥にボスニア・ヘルツェゴビナの管理権、英にキプロス)

1881 仏がチュニジアを保護国化 1882 英がエジプト支配を開始

1889 第2次ワッハーブ王国が滅亡

1899 ドイツにバグダード鉄道の敷設権を与える

1902 第3次ワッハーブ王国が成立

1908 青年トルコ革命。ブルガリアが独立宣言。奥がボスニア・ヘルツェゴビナを併合

1911～1912 イタリア＝トルコ戦争、トリポリ・キレナイカを失う

1912 第1次バルカン戦争(対バルカン同盟) 1913 第2次バルカン戦争

1914 第一次世界大戦に同盟国側で参戦

1918 アルメニア・グルジア・アゼルバイジャンが独立宣言 1920 セーヴル条約(領土縮小)

1922 スルタン制廃止。オスマン帝国滅亡。 1923 ローザンヌ条約(一部回復・治外法権全廃)

1923 トルコ共和国成立(cap.アンカラ)、ケマル＝アタテュルクが大統領就任(任～1938)

1924 カリフ制廃止、共和国憲法発布。 近代化政策(女性解放・女性参政権・太陽暦 etc.)

1932 サウジアラビア王国が成立 1933 トルコが国際連盟加入

1937 イラン・アフガニスタン・トルコ・イラク不可侵条約

1941 トルコが独と友好条約

1945 トルコが対独・対日宣戦

20

トルコ共和国

1952 トルコがNATO加盟

1955 バグダード条約機構(METO)が成立

1959 中央条約機構(CENTO)が成立

1928 文字改革、ローマ字採用